

野菜摂取量が推定できる機器「ベジチェック®」が、「食と健康アワード2021」機器・ソフト部門にて特別賞・コミュニケーションツール賞を受賞

センサーに手のひらを当てるだけで、野菜摂取量を簡単に推定できる機器「ベジチェック®」が、「食と健康アワード2021」の機器・ソフト部門 特別賞・コミュニケーションツール賞を受賞しました。

本賞は、食と健康に関わるすべての食品、機器、サービスを対象に、株式会社ヘルスビジネスメディア「月刊H&B リテイル」と日本チェーンドラッグストア協会(JACDS)、日本ヘルスケア協会(JAHI)がコラボレーションし、ヘルスケア市場活性化の観点から選出、表彰を行っています。

今回の表彰では、特に以下の2点を評価いただきました。

- (1) 消費者と「食と健康」というキーワードを簡単かつ面白く結びつける機器である点
- (2) 新たな来店動機にもなるため、ドラッグストアが店頭で設置することで来店活性化にもつながり、関心の先にある需要創造にも一役買う機器である点

「ベジチェック®」について

皮膚のカロテノイド(*1)量を光学的に測定することで、野菜摂取レベルと推定野菜摂取量を表示することを可能にした機器です。LEDを搭載したセンサーに手のひらを当て、数十秒で測定が完了することから、利用者がその場で結果を見ることができる簡便さが特徴です。

2019年7月のレンタル・リース開始以降、企業の従業員や自治体の住民への健康増進支援や、ドラッグストアでのお客様との店頭コミュニケーション、イベントなど、様々な場面でご活用いただいております。

参考: https://www.kagome.co.jp/library/company/news/2019/img/190625_0700902.pdf

<https://www.kagome.co.jp/library/company/news/2020/img/20200707.pdf>

左: ベジチェック®測定風景 中: ベジチェック®測定結果画面 右: 「食と健康アワード2021」ロゴマーク



*1 カロテノイド

野菜(特に緑黄色野菜)や果実に広く含まれる、赤～橙～黄色の色素。にんじん等の緑黄色野菜に豊富なβ-カロテンやルテイン、トマト・スイカの赤い色素であるリコピン、温州ミカンのβ-クリプトキサンチンなどがその代表です。

摂取することで体内に吸収され、皮膚にも蓄積することがわかっています。総じて強い抗酸化作用(一重項酸素消去作用)を有することから、その積極的な摂取による健康効果が期待されています。また、カロテノイドの一部(β-カロテンやα-カロテン、β-クリプトキサンチン等)は、体内に吸収された後にビタミンAに変換されるプロビタミンAとしての役割を介して健康に寄与するものもあります。

参考:カゴメの健康サービス事業

主に法人や自治体向けに、健康増進をサポートするサービスを開発・販売しています。野菜摂取の重要性、メリット、メソッドを伝えるセミナー(集合型、オンライン)やeラーニング、野菜不足の自分事化につながるベジチェック®のレンタル・リースやレコーディングアプリの提供などを通じ、食習慣の改善や野菜摂取をサポートします。

左上:集合型セミナー風景 右上:オンラインセミナー画面 左下:eラーニング画面 右下:アプリ操作風景



【サービスに関するお問い合わせ先】

カゴメ株式会社 健康事業部

E-mail: kagome.happy-wellness@kagome.co.jp